

障害の概要、 障害学生の支援ニーズ及び支援例

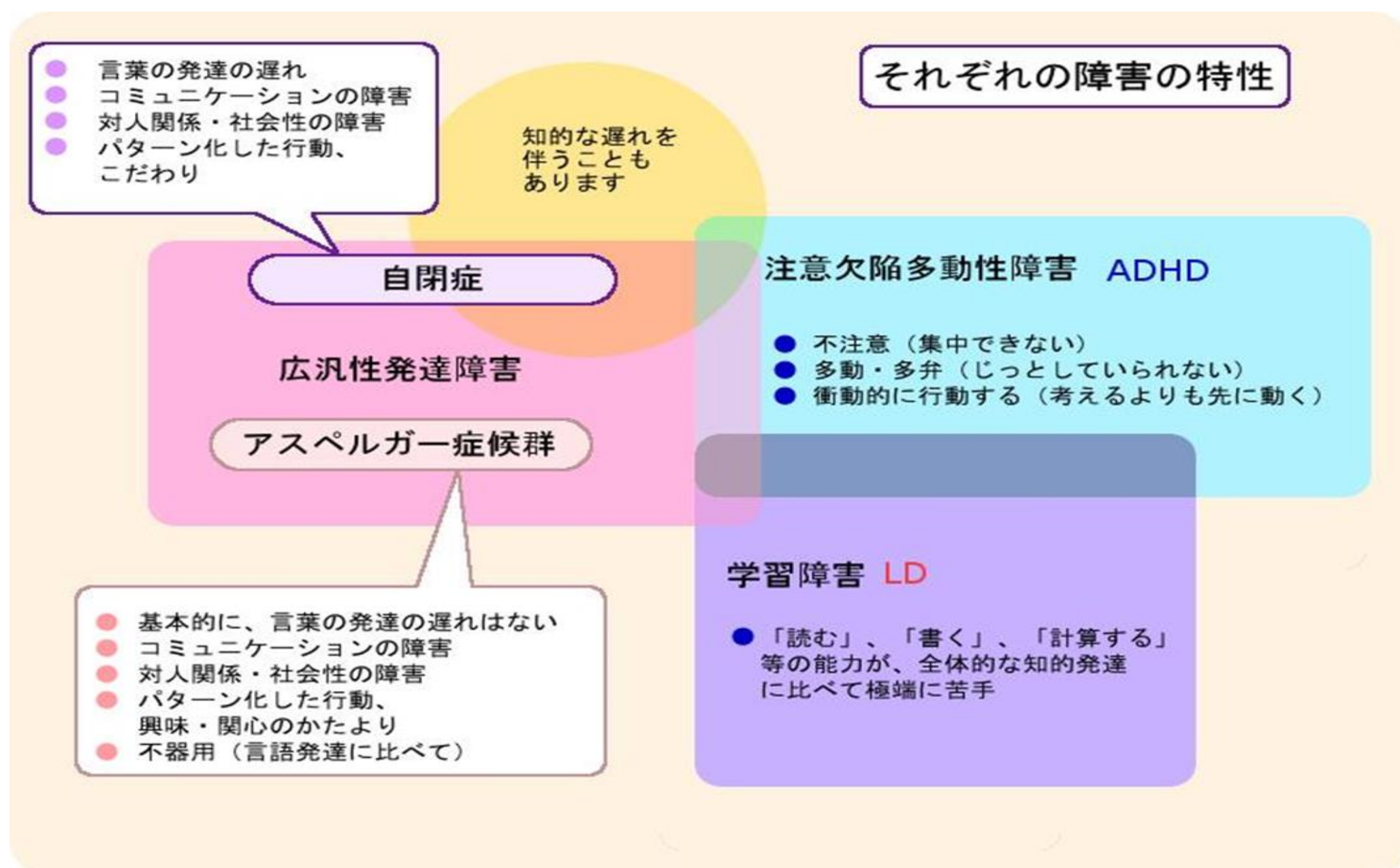
発達障害

① 発達障害とは

能力の凸凹が大きく、コミュニケーションと社会性、こだわり、感覚過敏、運動面の不器用さと苦手さ等に困難がある。

※（ ）内は平成26年度までの「障害のある学生の修学支援に関する実態調査」における障害区分表記

- SLD…限局性学習症／限局性学習障害（LD：学習障害）
- ADHD…注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害
（ADHD：注意欠陥／多動性障害）
- ASD…自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害
（高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）



障害の概要、 障害学生の支援ニーズ及び支援例

②発達障害学生の支援ニーズ

- 履修登録…履修計画、授業選択指導
- 授業…講義録音許可、板書撮影許可、ポイントテイク
- 試験…別室受験、試験時間延長
- スケジュール管理…出席、提出物期限
- 情報取得…注意事項文書伝達
- 対人関係、コミュニケーション…グループワーク配慮 等

③ 本学での支援例

- 講義内容の録音、スマホでの板書撮影、ポイントテイク支援学生の同行等を認める。
- 伝達事項は口頭ではなく板書や紙面で提示する。
- 突然のスケジュールの変更は避ける。
- 試験においては、別室受験、試験時間延長等を認める。
- グループワーク等の演習形式の授業で、特性に合った実施方法に変更する。